

「ターゲットの関心テーマ」×「食育」のミックス

■「スポーツ(著名アスリート)」×「食育」
(大阪ガス(株): アスリート食・Do セミ
ナー&料理講習会)

- 自社所属のスポーツ選手や、活躍したマラソン選手、水泳選手、アスリートを招いてセミナー&講習会を開催。勝負飯も紹介。
- 最高の体を作ってきたアスリートの経験をもとに、健康につながる食生活や体づくりのヒントをセミナー等を通じて情報発信。

(出所) 大阪ガス(株)ヒアリングおよび同社ウェブサイト、
<http://www.osakagas.co.jp/company/efforts/visibility/asushoku/index.html>。



イベントの例

- 自分を超越る！メンタルと食の力（競泳オリンピックメダリスト）
- モチベーションアップの秘訣と夢を叶える元気食！（競泳日本代表選手）
- 体の声を聴く！アスリートの健康食生活（元ラグビー日本代表）
- 美容に良いアスリート食（新体操元オリンピック日本代表）

■「防災」×「食育」
(大阪ガス(株): チャリティ防災クッキング)

- 防災月間中に防災をテーマにしたチャリティ親子クッキングを開催。まな板、包丁を使わず、ビニール袋やアルミホイルなど身近なものを利用した、もしもの時をたくましく乗り切るための調理レシピや方法を紹介。
- 2018年は大阪北部地震など自然災害が多かったこともあり、ガス会社としての知見をふまえたマイコン復帰手順などを説明。多くのメディアの取材を受けた。

(出所) 大阪ガス(株)ヒアリングおよび同社ウェブサイト、
http://www.osakagas.co.jp/company/efforts/sustainable/2018/1273706_38509.html。



主催：♡大阪ガス

国 力：株式会社水ハウス株式会社（住毛メーカー）、関西よつば連合会（食品などの宅配事業）、株式会社マルヤナギ小倉屋（漬物、醬油などの食品メーカー）、山陽酒店株式会社（大阪の「だし」専門店）、東洋ライス株式会社（お米の総合メーカー）、タマノイ酢株式会社（酢などの調味料メーカー）、旭和食品株式会社（こうちや惣菜などの食品メーカー） 欄不明

「ターゲットの関心テーマ」×「食育」のミックス

■「スポーツ(サッカー)」×「食育」

(農林水産省・山梨県・甲府市: V-action
～食で勝利をつかめ～第一弾)

- Jリーグのプロサッカー клубである「ヴァンフォーレ甲府」と組んで第14回食育推進全国大会の事前広報イベント(大会プレイベント)を開催。
- 強く健全な身体を手に入れることを食育に対して関心が低い層にも参加しやすい工夫。
- 選手が体作りのためやっているトレーニング(体幹アップゲーム)と選手寮で食べている食事(Vごはん)を再現し、参加者に普段の食事において栄養バランスの良い食事の大切さや食事と体のつながりを参加者に知ってもらった。



■「さまざまな視点」×「食育」

((一社)フードサルベージ:「フードロスの学校」)

- 東京農業大学と共同で「フードロスの学校」という講座を開催。講座では一見してフードロスとは関係ない、または普段聞けない話を聞く場として、外部講師を呼んで講義をしてもらう。
- 講座の参加者は男性が多く、年齢層も大学生から60代まで幅広い。座学もテーマ設定さえ工夫すれば、フードロスに関心が低い人にも興味を持ってもらえる。
- 美味しいところだけを食べる、というのは生物としての本能ともいえる。しかし、われわれはフードロスを「問題」だと思っている。なぜフードロスが問題化されたのか。そして様々な分野や視点から食品ロス問題を見たらどう見えるのかを考えるきっかけにする。

講座の例

■ 木造建築×フードロス

木造建築の専門家を招いて、木材の利用方法など限られた資源を最大限生かすヨーロッパ木造建築からフードロス解決のヒントを探る

■ 生産現場×フードロス

農業体験イベント企画運営などの事業を実施している農家を招いて、生産現場とフードロスの現状等について知り、フードロス解決のヒントを探る

■ 里山文化×フードロス

山村経済学の専門家を招いて、里山文化にある食材やエネルギーを活かす知恵について学ぶ

(出所) (一社) フードサルベージへのヒアリングおよび
フードサルベージ・ウェブサイト、
<https://salvageparty.com/flwschool001-2>。

参加・体験型、ゲーム感覚

■調理体験

(大阪ガス(株):和食だし体験講座)

- 和食の味の決め手となる滋味豊かな本物の“だし”について、味覚体験を通じて理解を深める。講義だけでなく、実際にだしをとり、昆布とかつお節のだしの飲み比べ、両方を合わせたときのだしの相乗効果を体感してもらう。
- 参加者の感想:和食の良さが分かった、塩分が少なくてもだしが効いているとおいしく感じられる、子どもがお手つだいや料理に興味をもち、親子で料理を作るきっかけにつながった、など

(出所) 大阪ガス(株)ヒアリングおよび同社ウェブサイト、
<http://www.osakagas.co.jp/shokuiku/wadashi.html>。



レシピ一例

■調理体験

(サルベージ・パーティ)

- 食品ロスを減らす料理法を楽しみながら知り、食品ロスについて考えるきっかけづくりにしてもらうことが目的。残り物食材がプロの料理人によってどのように料理になるのか、を楽しみながら参加者で調理する。
- 食品ロスを知るきっかけづくりをしたうえで、具体的にどう考えどう行動するかは参加者にゆだねている。参加者に自分自身の食品ロス論を考えてほしいと思っている。



- ✓ メニュー: 金糸瓜とそうめんの鯖サラダ
- ✓ 材料: 金糸瓜/胡瓜/素麺/鯖の味噌煮缶/大葉/春雨/白ぶどうのフルーツビネガー

(出所) (一社) フードサルベージへのヒアリングおよび同団体ウェブサイト、
https://salvageparty.com/news?_sft_category=recipe。

参加・体験型、ゲーム感覚

■参加型学習

(山口県立大学栄養学科:食育プログラム
開発チーム 食育戦隊ゴハンジャー)

- 山口県立大学栄養学科の課外活動の一つとして、地域の子供たちが楽しみながら食について学べる食育プログラムを実施している。
- 活動の工夫
 - ・ ターゲットが子供であるため、オリジナルのキャラクターを設定している。
 - ・ 食育プログラムは、一つひとつの活動の中で目標を定め、プログラム全体を通して子供たちが段階的に無理なく目標達成できるように組み立てている。
 - ・ 子供たちが楽しみながら継続的に食について学べるようにワークブックや絵本を作成している。



(出所) 加藤元士氏(山口県立大学准教授)ヒアリングおよび山口県立大学ウェブサイト、<https://www.yamaguchi-pu.ac.jp/nn/nt/shokuiku-gohan/>。

■試食体験(ランチ)、体幹を鍛えるゲーム (農林水産省・山梨県・甲府市: V-action ～食で勝利をつかめ～第一弾)(再掲)

- Jリーグのプロサッカークラブである「ヴァンフォーレ甲府」と組んで第14回食育推進全国大会の事前広報イベント(大会プレイベント)を開催。
- 強く健全な身体を手に入れることを食育に対して関心が低い層にも参加しやすい工夫。
- 選手が体作りのためやっているトレーニング(体幹アップゲーム)と選手寮で食べている食事(Vごはん)を再現し、参加者に普段の食事において栄養バランスの良い食事の大切さや食事と体のつながりを参加者に知ってもらった。

イベントでの食事(Vごはん)



- ✓ 主菜: 鶏むね肉のチキン南蛮 (タルタルソース小袋)、サラダ (ブロッコリー2房・レタス)
- ✓ 副菜: 豚しゃぶ(ポン酢小袋)、玉ねぎのおかか和え
- ✓ 副菜: ひじきの煮物、キノコの和え物
- ✓ 主食: 白米200g (ごま塩・梅干し)
- ✓ デザート: ブドウゼリー

学校、企業、スポーツクラブ、NPO、著名人等とのコラボ

■Jリーグ サッカーチーム(スポーツクラブ)、大学(管理栄養士)とのコラボ

(農林水産省・山梨県・甲府市: V-action～食で勝利をつかめ～第一弾)(再掲)

- Jリーグのプロサッカークラブである「ヴァンフォーレ甲府」と組んで第14回食育推進全国大会の事前広報イベント(大会プレイベント)を開催。
- 強く健全な身体を手に入れることを食育に対して関心が低い層にも参加しやすいよう工夫
- 選手が体作りのためやっているトレーニング(体幹アップゲーム)と選手寮で食べている食事(Vごはん)を再現し、参加者に普段の食事において栄養バランスの良い食事の大切さや食事と体のつながりを参加者に知ってもらった。



■保育所・幼稚園・小学校とコラボ

(山口県立大学栄養学科:食育プログラム開発チーム 食育戦隊ゴハンジャー)

- 活動は、保育所・幼稚園や小学校、児童センター、スーパーマーケット等、子供たちの生活の場へ出向いている。日常生活の中でプログラムを思い出して、繰り返し、振り返ることができる。

(出所) 加藤元士氏(山口県立大学准教授)ヒアリング。

■大学とコラボ

(大阪ガス(株):大学との食文化交流)

- 大学とタイアップして和食だし体験講座などを開催。食文化交流の場として、学生にとっても食育の実践・実習の機会となり、生きた経験や知見を得ることができた。

(出所) 大阪ガス(株)ヒアリング。

■地方自治体と企業のコラボ

(大阪ガス(株):保護者・幼児向け出張「和食だし講座」)

- 地方自治体の保健担当部署と共催で、和食だしの味覚体験や調理実習を通じて、だしの魅力を保護者、子どもたちなど幅広い世代に知ってもらう機会となった。
- 参加者の感想:試飲しただしの味に感動、離乳食の話も聞くことができ、子育てのヒントになった、意外と簡単にだしがとれることがわかった、など

(出所) 大阪ガス(株)ヒアリング。